

道内の感染状況等について

【令和4年10月21日】

主な指標の状況

		移行指標			その他指標	
10/20	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	新規 感染者数 今週先週比	陽性率
全道	2	21.2% (490床) ↑	0.8% (1床) ↑	396.0人/週 (20526人/週) ↑	1.41 ↑	33.8% ↑
札幌市	2	24.8% (185床) ↑	0.0% (0床) →	359.3人/週 (7044人/週) ↑	1.42 ↑	58.3% ↑
札幌市を 除く地域	2	19.6% (305床) ↑	1.3% (1床) ↑	418.3人/週 (13482人/週) ↑	1.41 ↑	27.7% ↑
レベル2 移行指標		20%	又は 20%	15人/週		
レベル3 移行指標		50%	又は 50%	—		

※()は実数。各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

(注)・令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「療養者数」、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

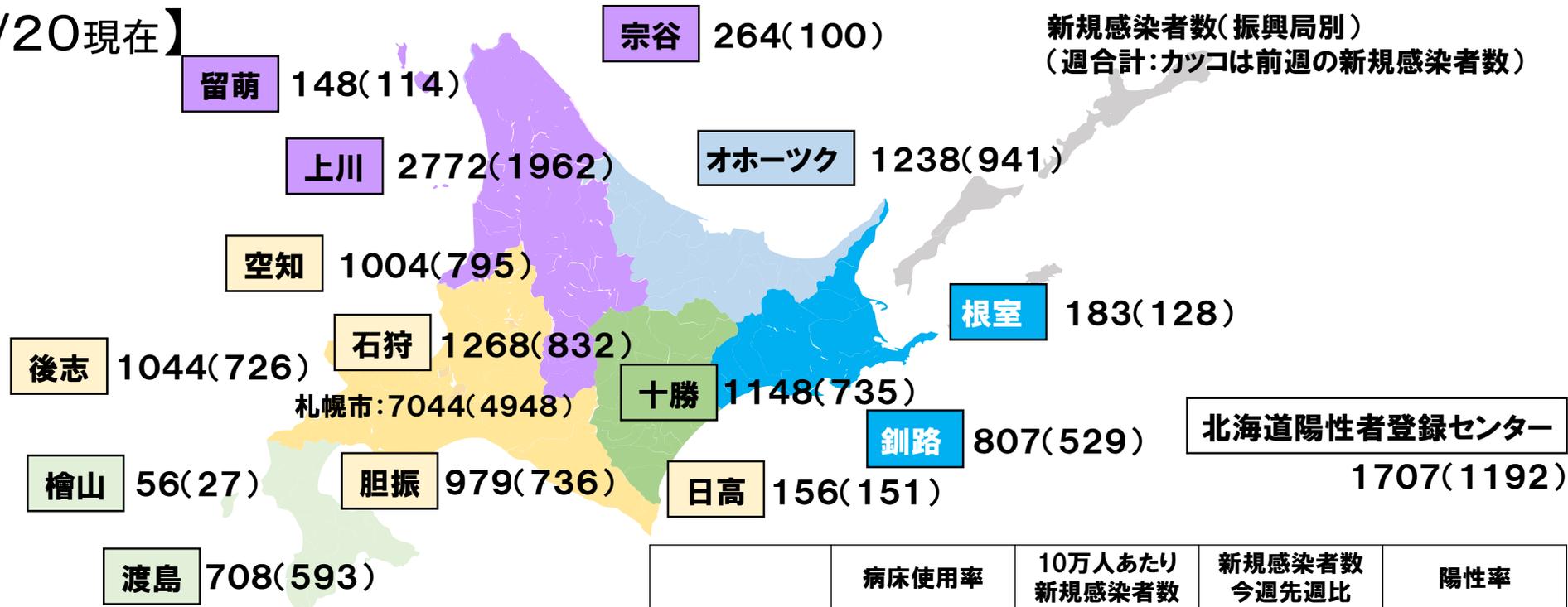
・レベル分類については、国に対し新たな考え方を示すよう求めており、示されるまでの間は、公表しなくなった指標を除いて運用する。

・札幌市の陽性率については、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数(19,296人)を検査数に含めず算出。検査数に含む場合、

札幌市 22.5% 全道 25.6% となる。

地域における主な指標の状況

【10/20現在】



	病床使用率	10万人あたり 新規感染者数	新規感染者数 今週先週比	陽性率
札幌市	24.8% (185床)	359.3人/週 (7044人/週)	1.42	58.3%
道央圏 (札幌市除く)	16.9% (84床)	332.9人/週 (4451人/週)	1.37	23.6%
道北圏	34.3% (114床)	547.5人/週 (3184人/週)	1.46	24.0%
道南圏	7.9% (19床)	185.8人/週 (764人/週)	1.23	21.6%
十勝圏	29.8% (51床)	345.9人/週 (1148人/週)	1.56	21.5%
オホーツク圏	4.8% (6床)	459.6人/週 (1238人/週)	1.32	25.9%
釧路・根室圏	16.1% (31床)	339.1人/週 (990人/週)	1.51	34.1%

※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。

※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、振興局別(圏域別)の新規感染者数は届出があった医療機関の所在地別となっている。また、「療養者数」、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

※札幌市の陽性率については、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数(19,296人)を検査数に含めず算出。検査数に含む場合、22.5%となる。

総評 ①

【全国の様況】

○ 全国では、病床使用率は減少が続いているものの、新規感染者数は下げ止まりや増加の動きがみられる。国の専門家からは、新規感染者数について、全国では増加に転じており、今後の増加速度及び増加が継続するかについて注視する必要がある、と指摘されている。

※参考：10月20日、新規感染者数先週比 東京1.12、大阪1.25、福岡1.20、沖縄0.80（北海道調べ）

【医療提供体制】

○ 病床使用率については、21.2%と、増減をしながら横ばいとなっている。また、札幌市については24.8%と、同様に横ばいとなっている。重症病床使用率は0.8%となっており、低い水準で推移している。

【感染状況】

○ 新規感染者数は、人口10万人当たりでは396.0人。8月26日に今週先週比が1を下回り、その後、一時的に増加したものの、減少傾向が継続してきたが、10月13日には1を上回り、以降、増加傾向が続いている。年代別では、引き続き、30代以下の割合が約6割を占めている。

総 評 ②

【今後の対策】

- 新規感染者数の減少傾向は1か月以上続いてきたが、増加傾向に転じた状況となったことから、今後の動向について慎重にモニタリングを行っていく。また、急速な感染拡大を抑え、社会経済活動をできる限り維持していくため、改めて、道民の皆様に基本的な感染防止行動の実践やワクチン接種の検討について呼びかけるとともに、事業者の方々に感染防止対策の徹底に取り組んでいただけるよう働きかける。
- 道北圏の即応病床については、地域の状況を踏まえ、暫定的にフェーズ2相当として運用してきたが、10月24日からフェーズ1として運用する。
- 国においては、「新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォース」を開催し、ピーク時に全国で75万人の患者が生じる可能性を想定した上で、重症化リスクに応じた外来受診の流れや、国民への呼びかけ方針を示した。道としても、国の通知を踏まえ、高齢者等重症化リスクのある方に適切な医療が提供できるよう、外来医療体制の強化等を図る「外来医療体制整備計画」の策定に向け、専門家の意見を伺うとともに、関係団体とも連携を図りながら検討を進める。

総 評 ③

- 乳幼児(6ヶ月～4歳)へのワクチン接種については10月24日から接種が可能となり、道内市町村でも準備が整い次第、順次開始される。また、オミクロン株対応ワクチン等の接種間隔について5ヶ月から3ヶ月に短縮されたことから、年内に希望する方全員が接種できるよう、北海道ワクチン接種センターの活用や市町村の体制整備の一層の支援に努める。引き続き、早期接種を促進するため、多様な媒体による広報を進める。
- また、1、2回目接種が完了していない方については、1、2回目接種用の従来型ワクチンの供給が年内で終了予定であることや、年内に2回目の接種を完了していない場合、特例臨時接種の期間である年度末までにオミクロン株対応ワクチンの接種ができないことから、早期の接種を働きかける。
- 無料検査事業については、11月末まで期間を延長することとする。

入院患者数と病床使用率（全道）

入院患者数（人）

病床使用率

1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0

100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%

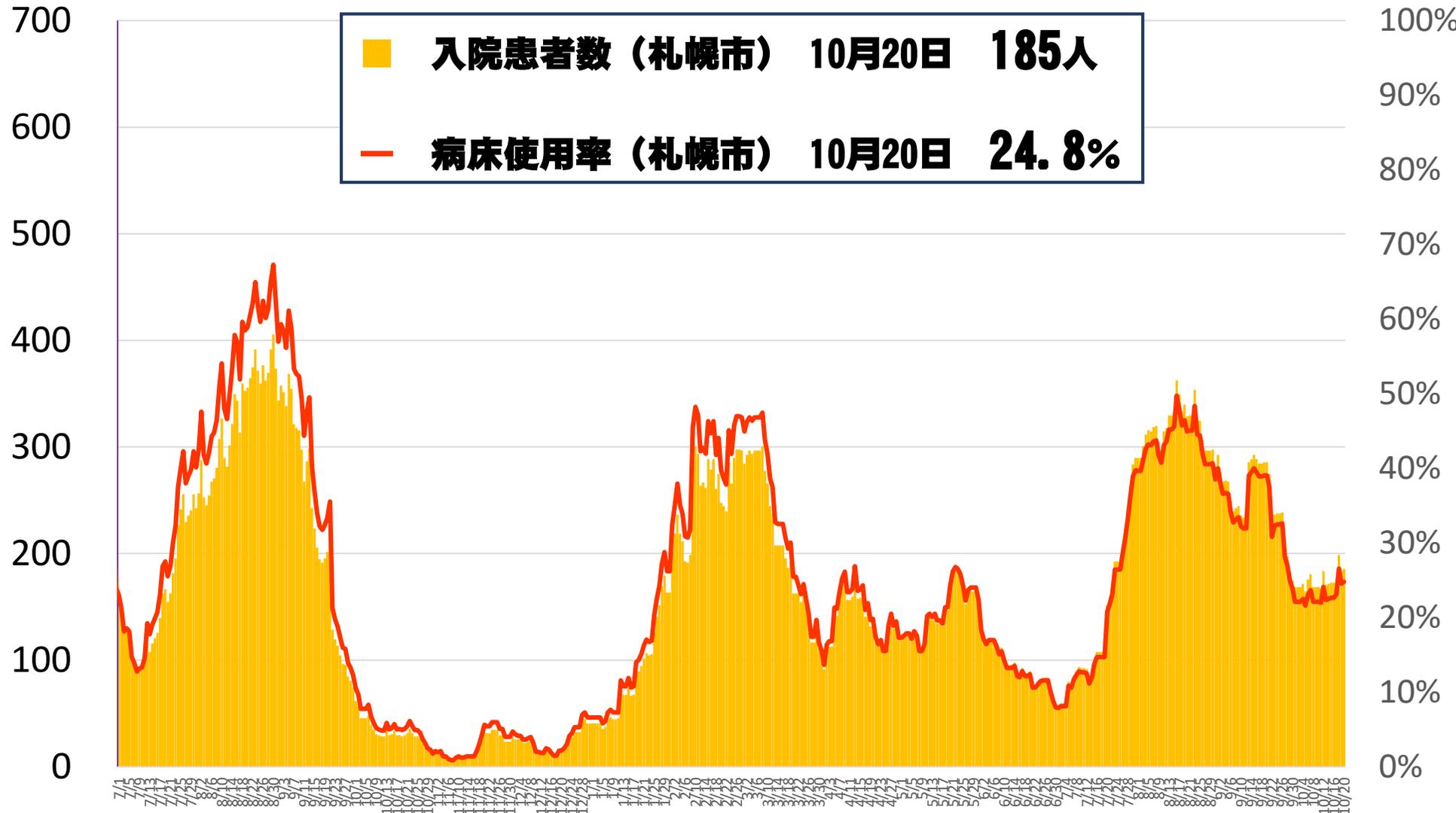
■ 入院患者数（全道） 10月20日 490人
— 病床使用率（全道） 10月20日 21.2%



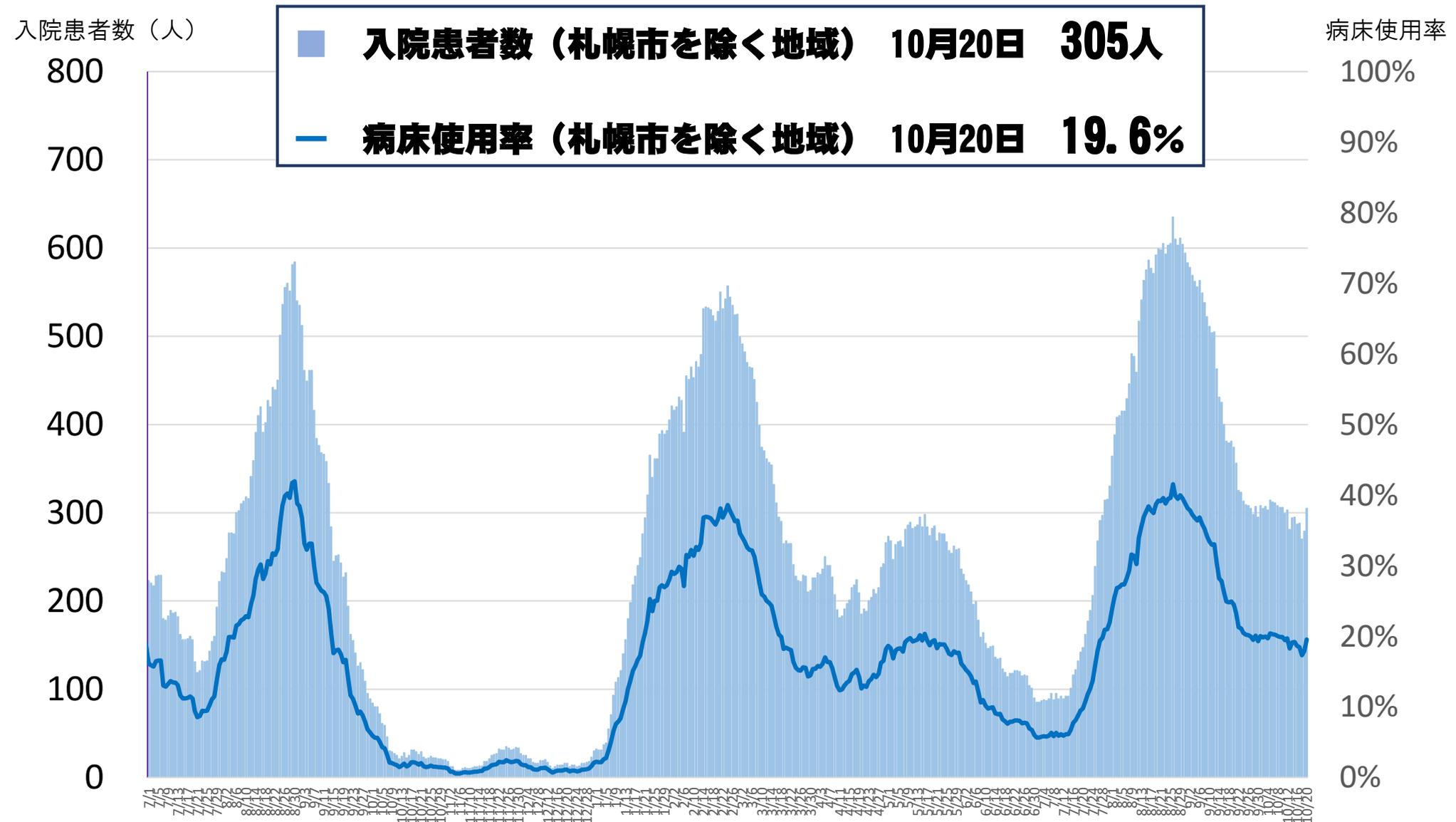
入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

病床使用率



入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）



重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

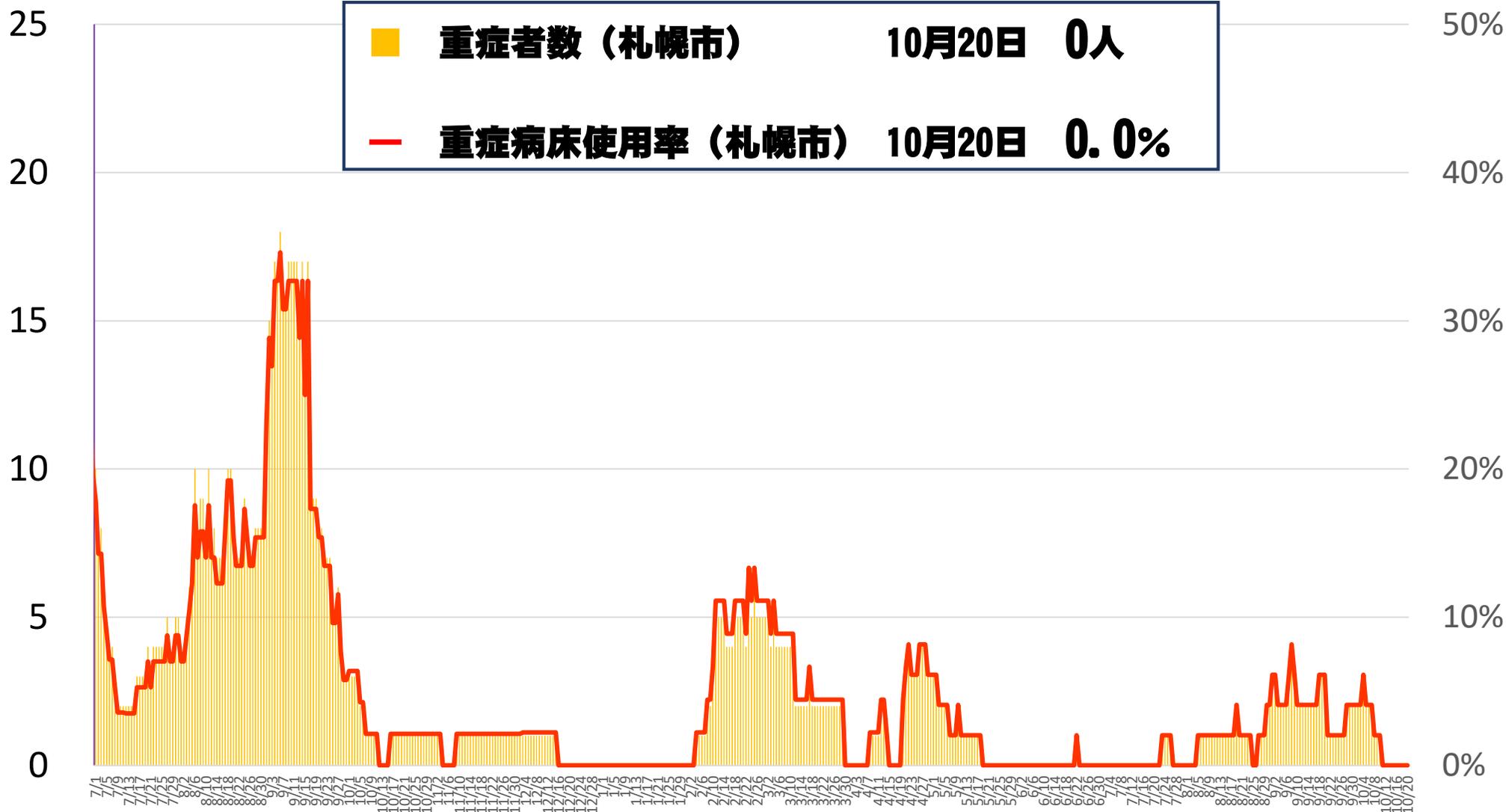
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

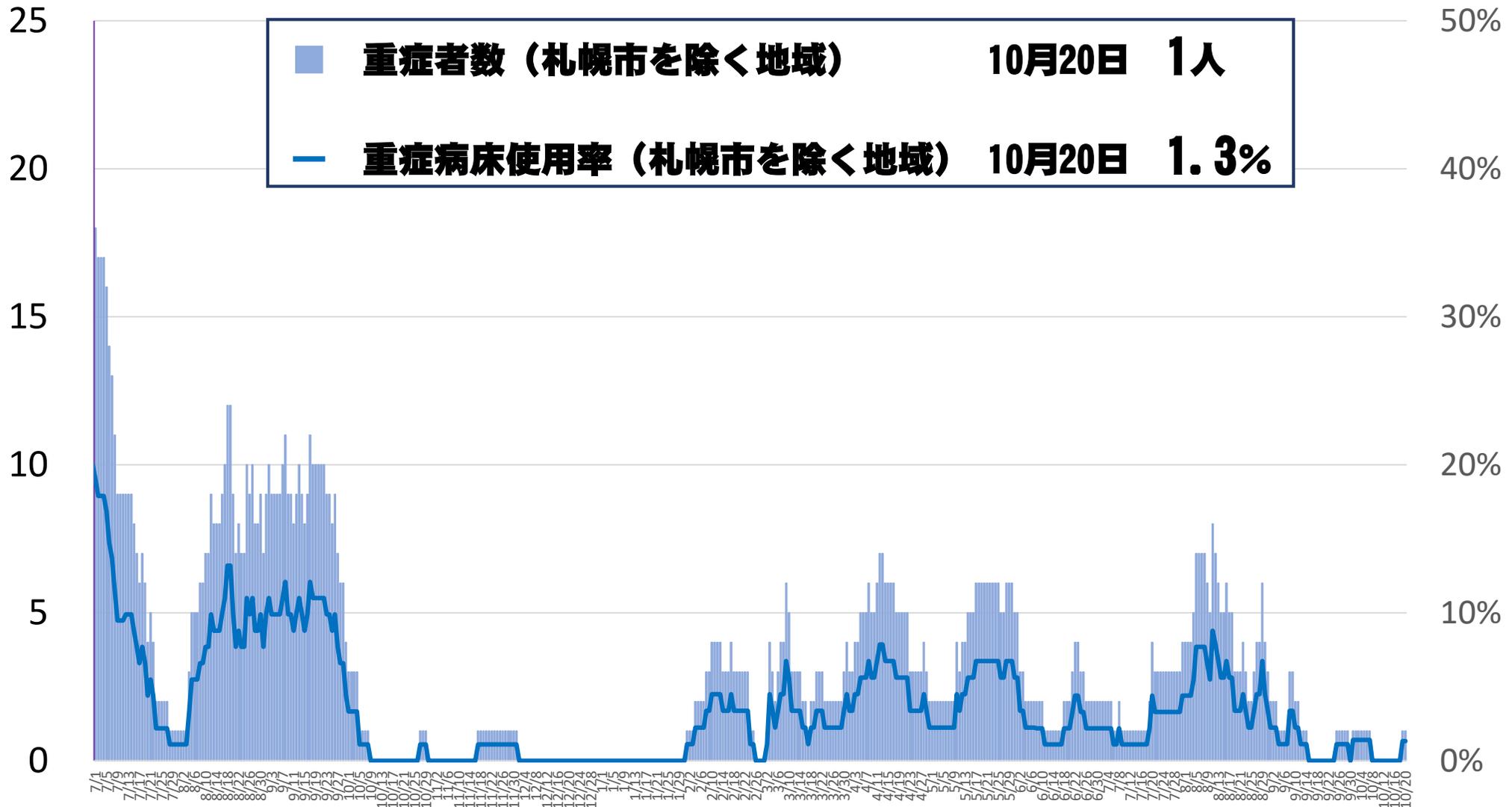
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

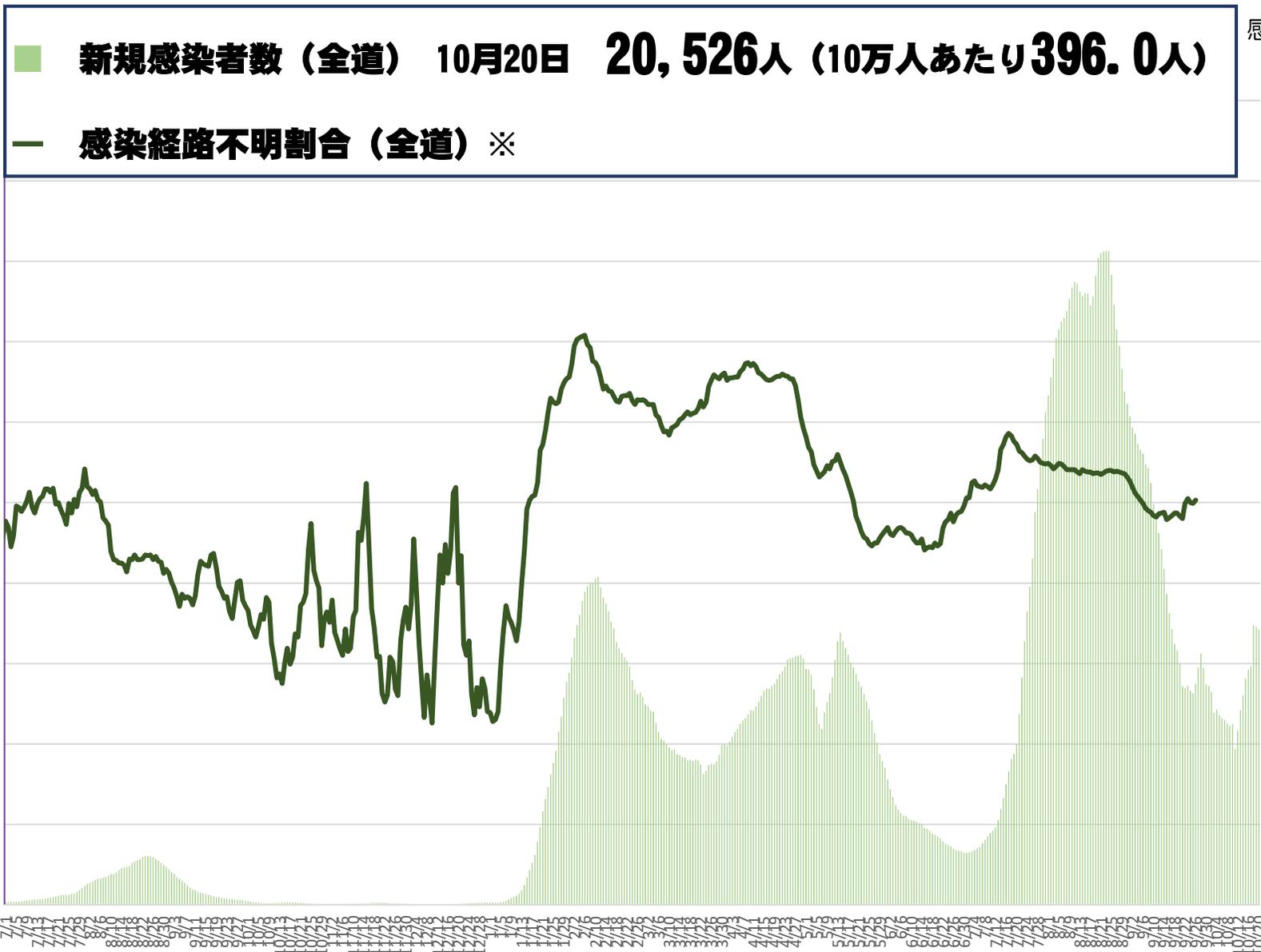
重症者数（人）

病床使用率



新規感染者数（全道）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)



感染経路不明割合
(7日間平均)

100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

0%

※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

新規感染者数（札幌市）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ **新規感染者数（札幌市）10月20日 7,044人（10万人あたり359.3人）**

— **感染経路不明割合（札幌市）※**

感染経路不明割合
(7日間平均)

25,000

100%

22,500

90%

20,000

80%

17,500

70%

15,000

60%

12,500

50%

10,000

40%

7,500

30%

5,000

20%

2,500

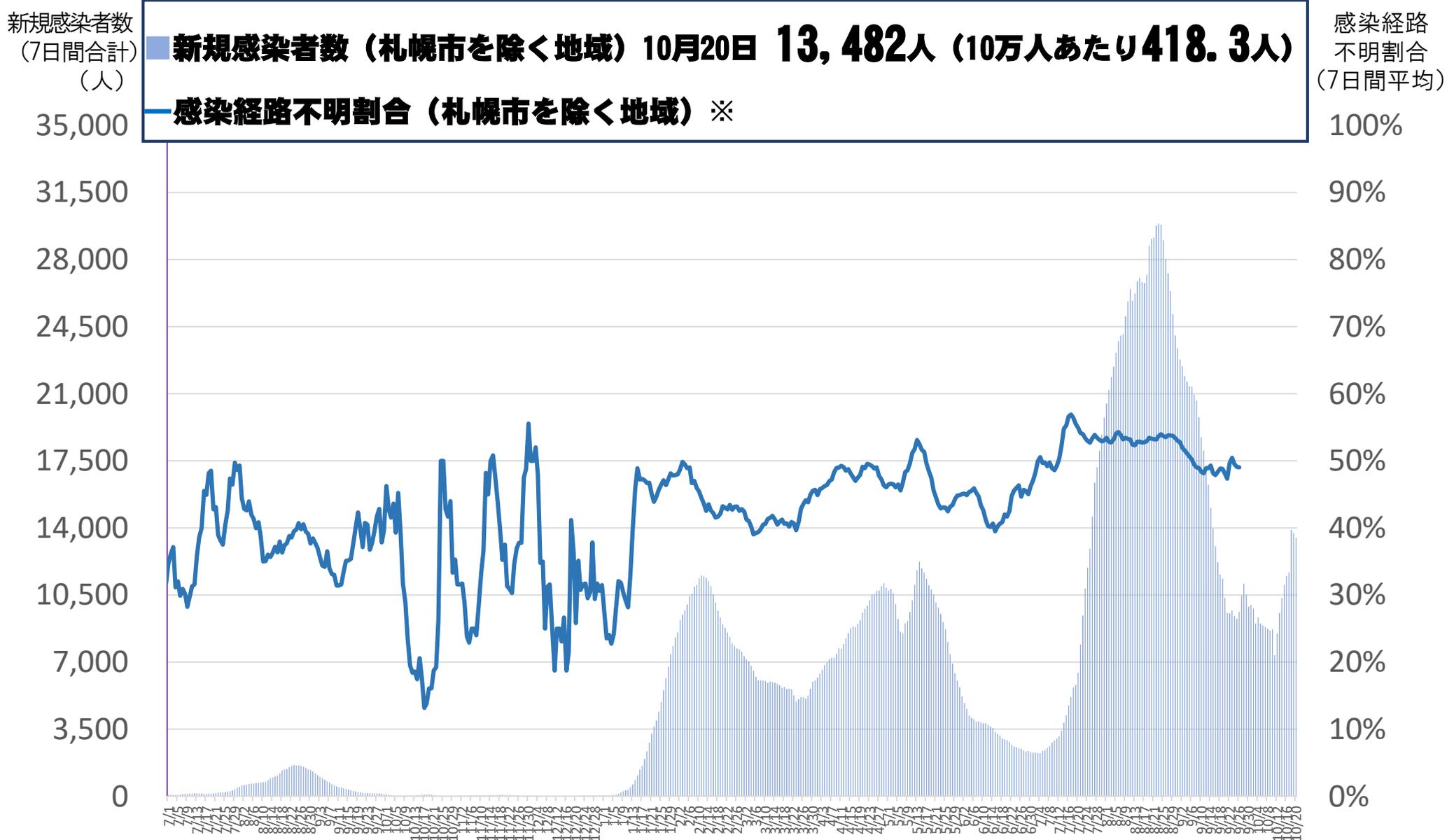
10%

0

0%

※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

新規感染者数（札幌市を除く地域）



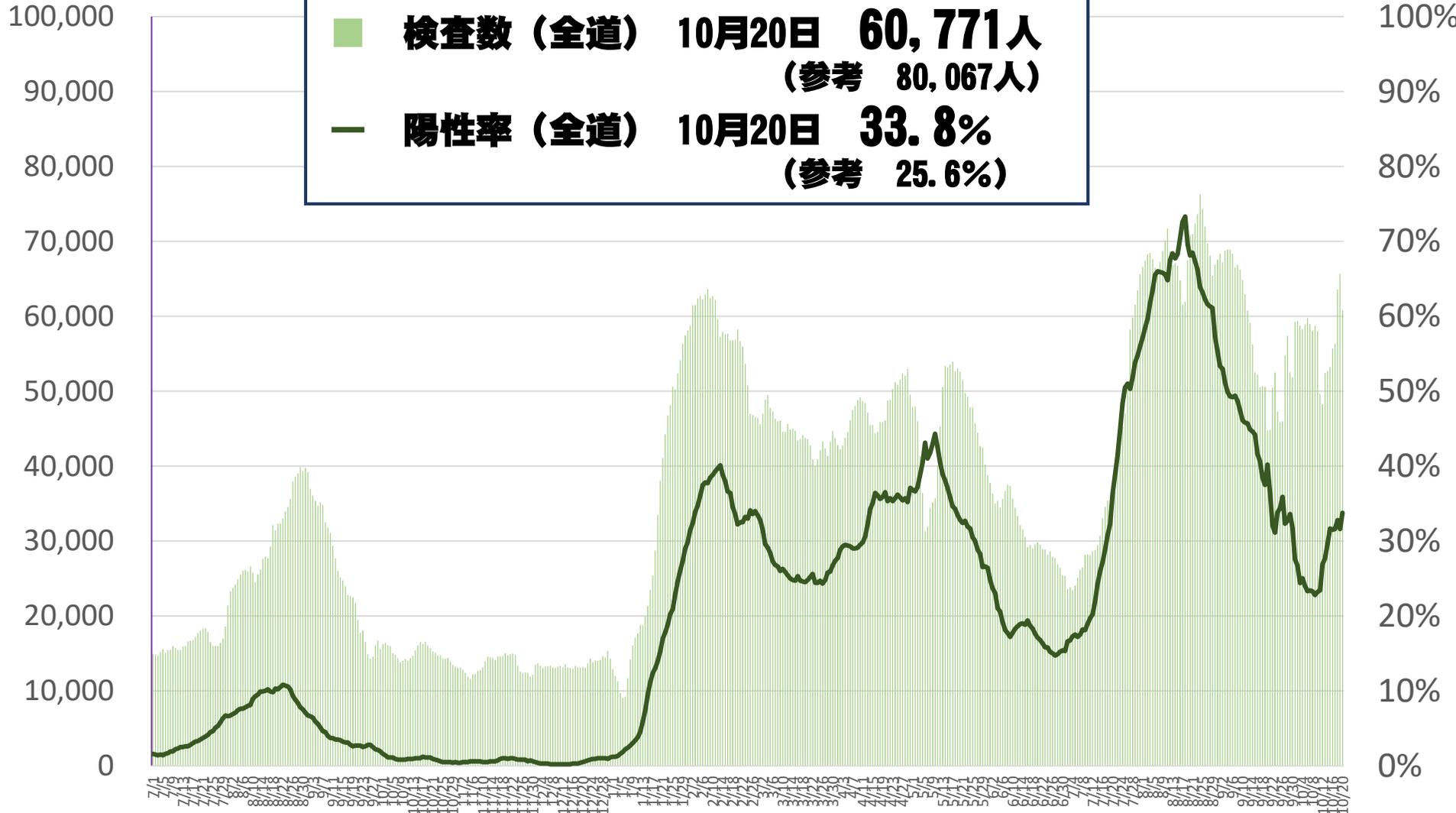
※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

検査数と陽性率（全道）

検査数（人）
（7日間合計）

陽性率
（7日間平均）

■ **検査数（全道）** 10月20日 **60,771人**
（参考 80,067人）
— **陽性率（全道）** 10月20日 **33.8%**
（参考 25.6%）



(参考)検査数には、札幌市を除く地域における高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数(8,296人)を含む。
参考として、札幌市における頻回検査数(19,296人)を含む検査数・陽性率を掲載している。

検査数と陽性率（札幌市）

検査数（人）
（7日間合計）

陽性率
（7日間平均）

50,000

100%

45,000

90%

40,000

80%

35,000

70%

30,000

60%

25,000

50%

20,000

40%

15,000

30%

10,000

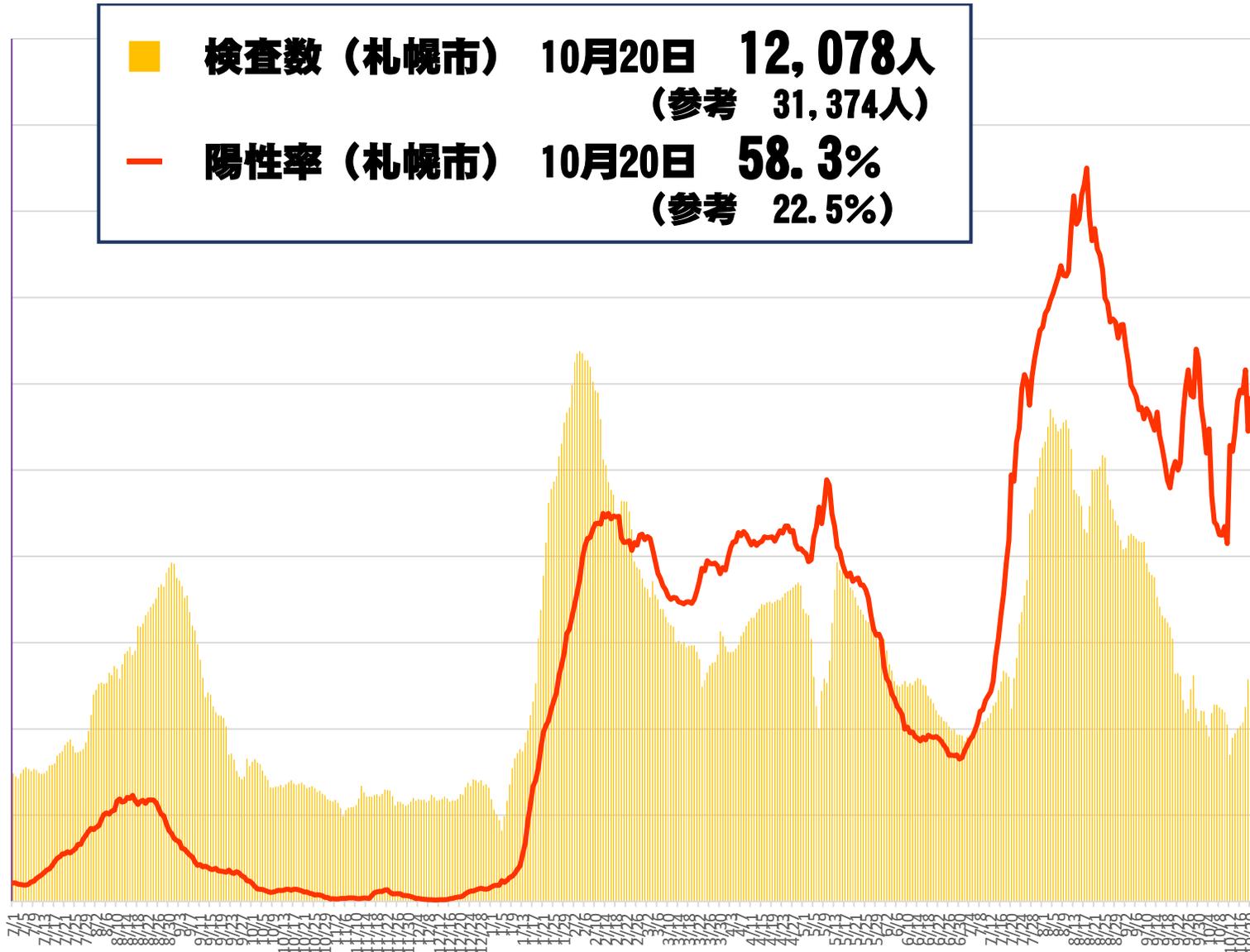
20%

5,000

10%

0

0%



（参考）参考として、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数（19,296人）を含む検査数・陽性率を掲載している。

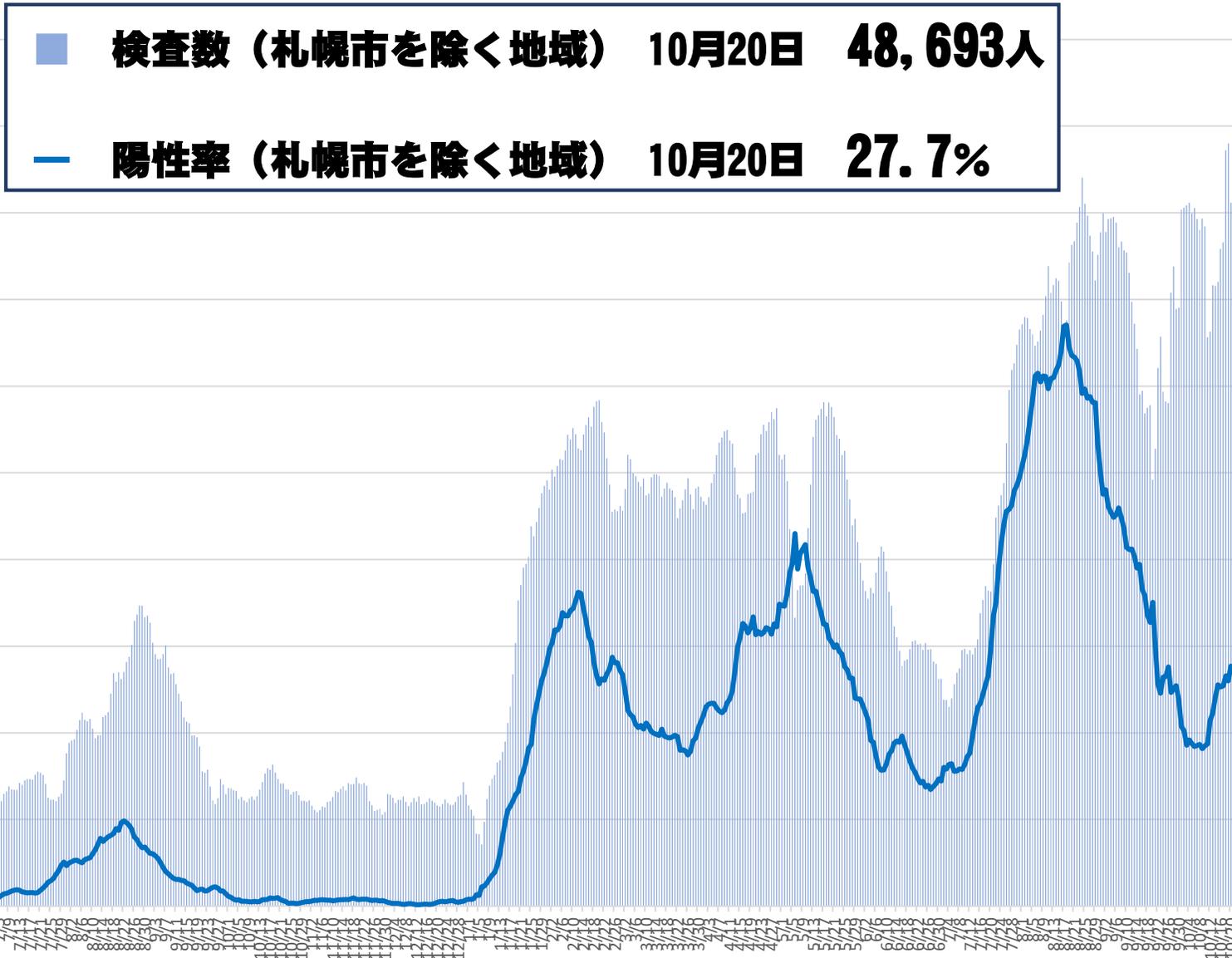
検査数と陽性率（札幌市を除く地域）

検査数(人)
(7日間合計)

陽性率
(7日間平均)

60,000
54,000
48,000
42,000
36,000
30,000
24,000
18,000
12,000
6,000
0

100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%



注: 検査数には、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数(8,296人)を含む。

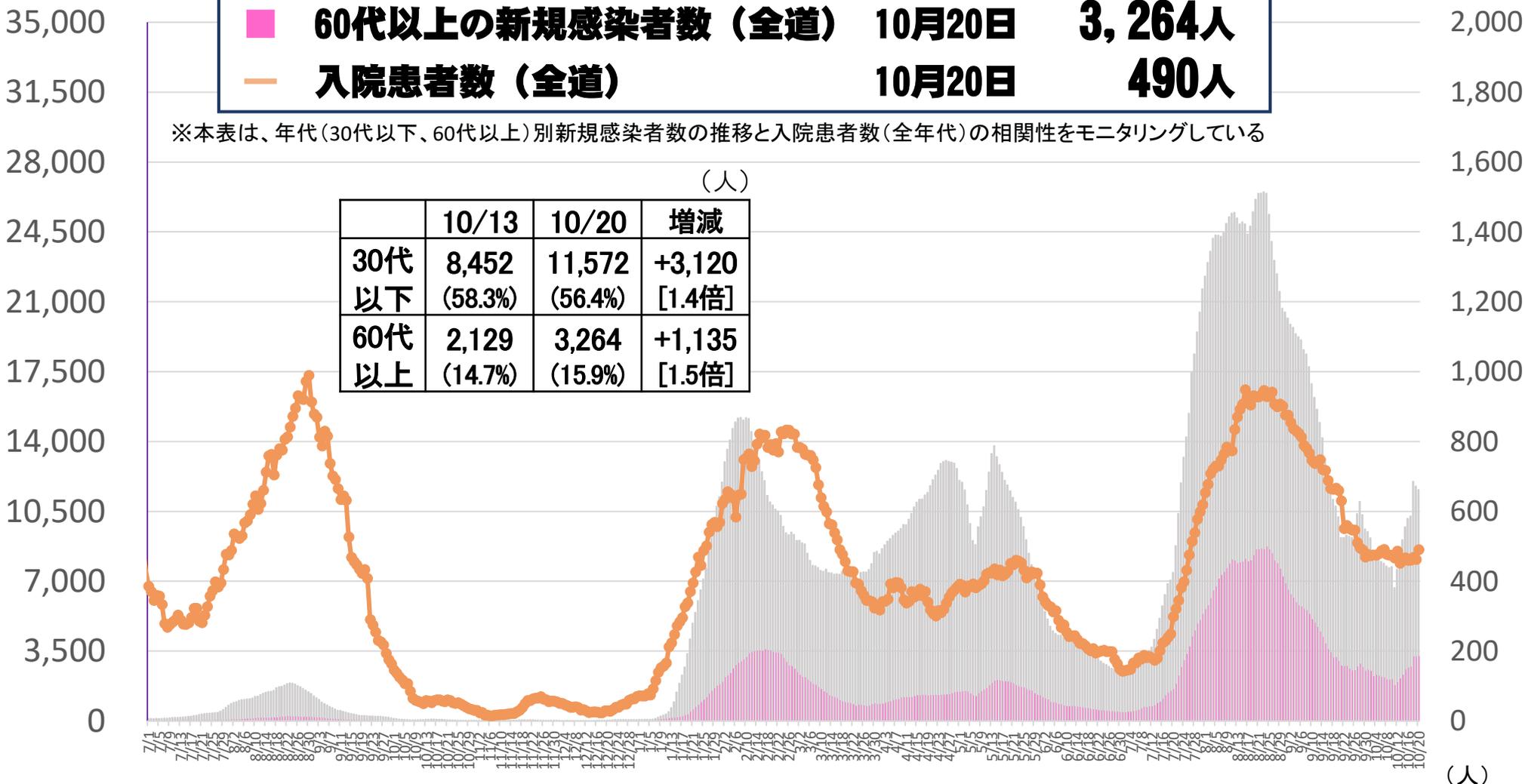
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数(人)
(7日間合計)

入院患者数
(人)

■	30代以下の新規感染者数(全道)	10月20日	11,572人
■	60代以上の新規感染者数(全道)	10月20日	3,264人
—	入院患者数(全道)	10月20日	490人

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

(参考)

	10/13	10/20	増減
10代	2,475	3,718	+1,243 [1.5倍]

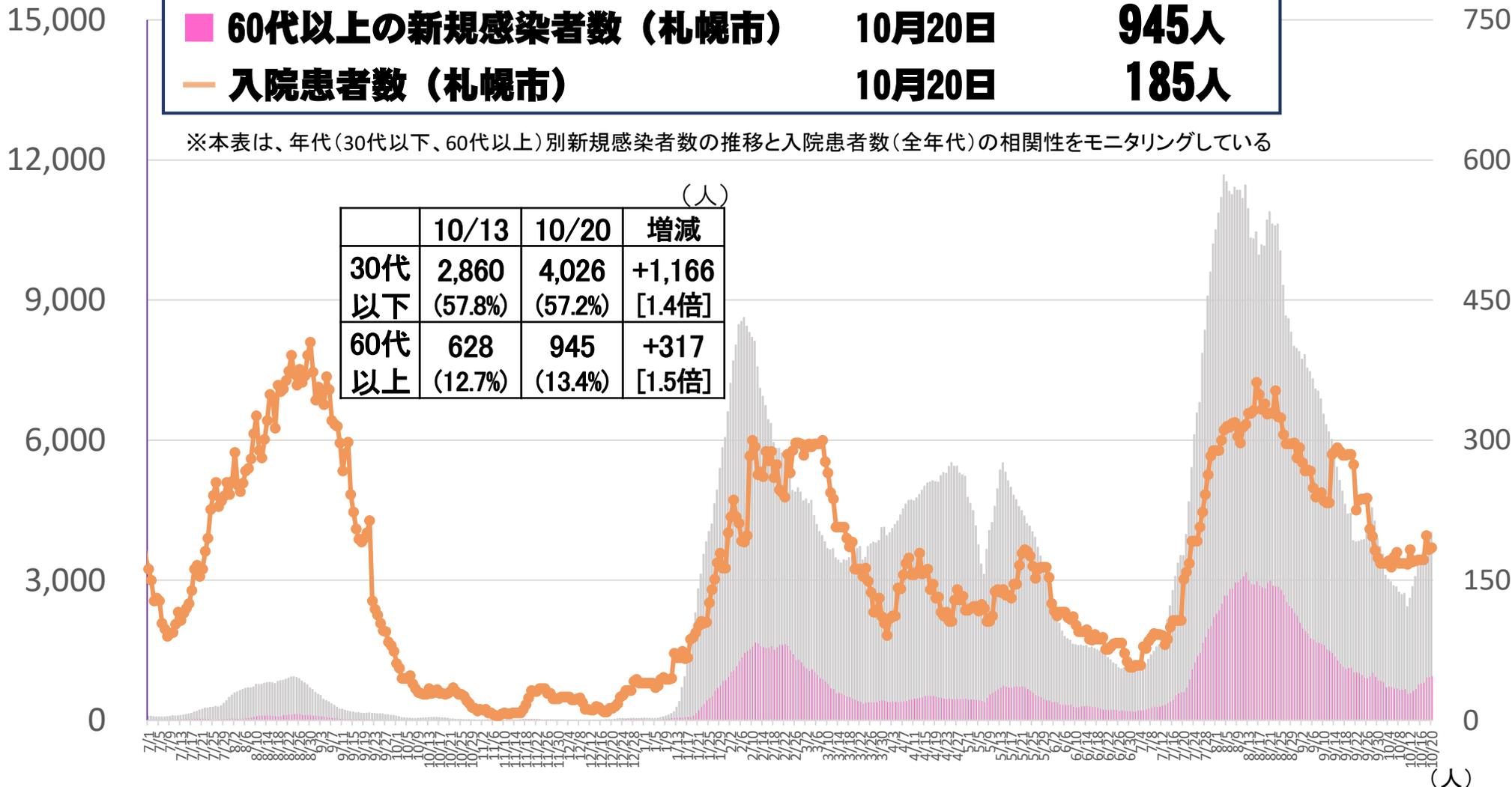
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ 30代以下の新規感染者数 (札幌市)	10月20日	4,026人
■ 60代以上の新規感染者数 (札幌市)	10月20日	945人
— 入院患者数 (札幌市)	10月20日	185人

入院患者数
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている

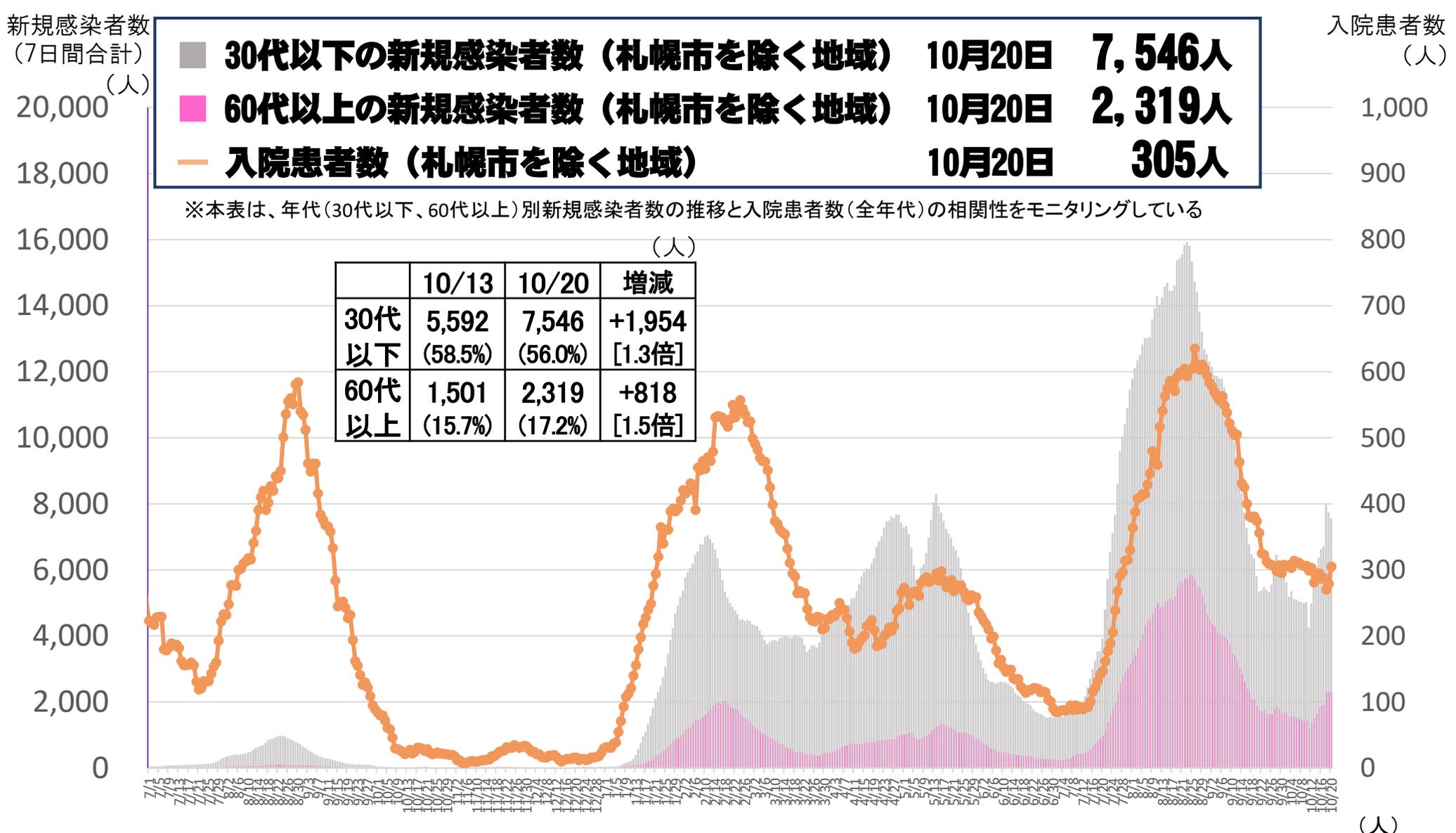


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

(参考)

	10/13	10/20	増減
10代	790	1,273	+483 [1.6倍]

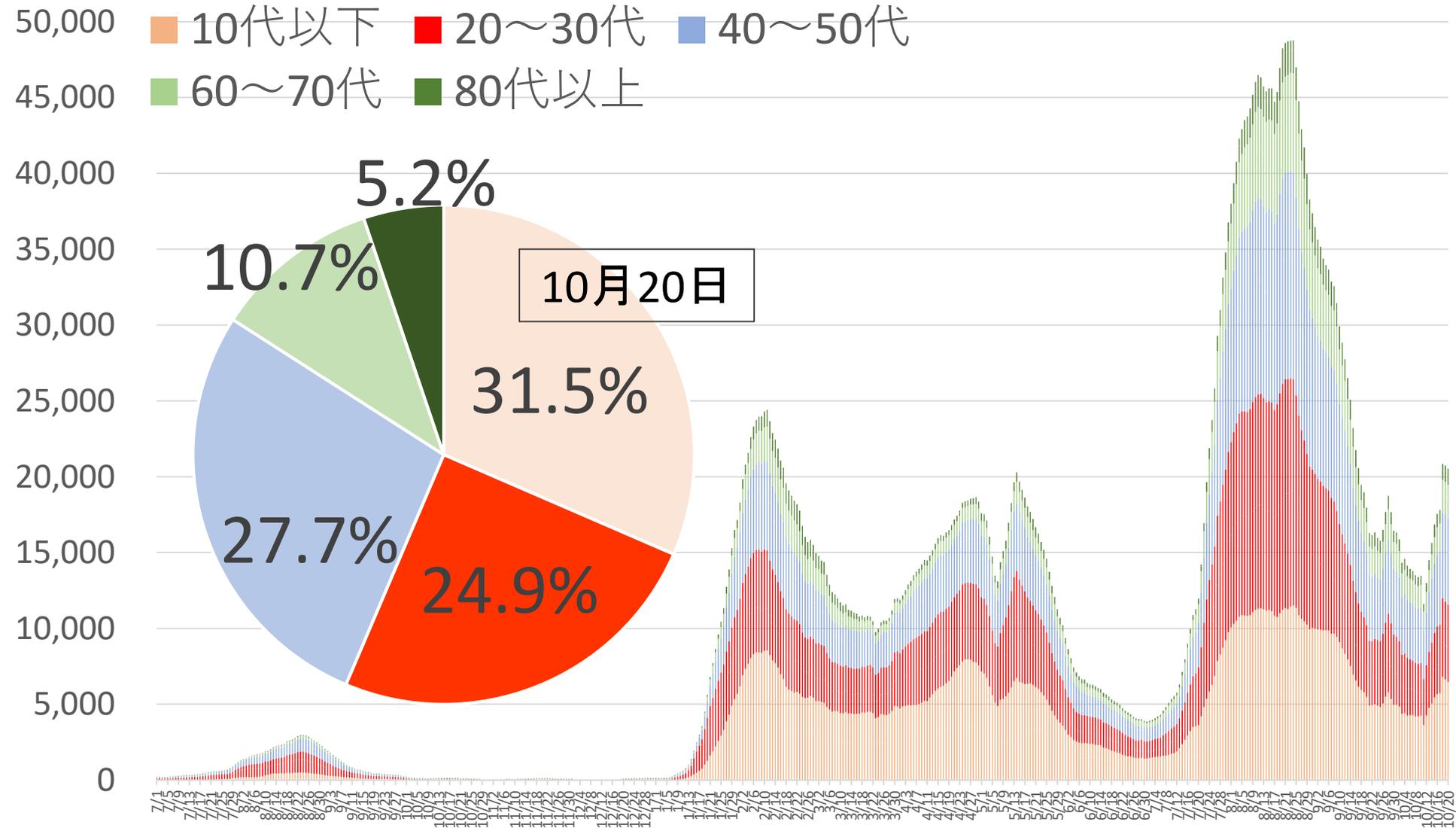
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

年代別新規感染者割合と推移(全道)

感染者数(人)
(7日間合計)



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

	9/30~10/6			10/7~13			10/14~20		
	合 計			合 計			合 計		
		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設
全 道	46件	13件	33件	50件	10件	40件	64件	13件	51件
札幌市	8件	—	8件	5件	—	5件	14件	—	14件
札幌市を除く地域	38件	13件	25件	45件	10件	35件	50件	13件	37件

※令和4年9月26日以降、集団感染については、発生時以降の増加人数を公表していないため、件数のみを掲載している。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況(医療従事者等分を含む。10/19現在)

<3回目接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	3,534,544	68.2%
うち65歳以上	1,518,786	90.7%
(参考) 全国	82,879,746	65.8%
うち65歳以上	32,569,806	90.6%

<4回目接種の状況>

区分	4回目	
	接種者数	接種率
北海道	1,790,686	—
うち60歳以上	1,483,498	73.8%
(参考) 全国	37,935,829	—
うち60歳以上	31,819,351	73.5%

<1・2回目接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む)>

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,338,693	83.7%	4,278,144	82.5%
うち小児	59,604	22.2%	56,995	21.2%
(参考) 全国	104,253,757	82.8%	102,898,617	81.7%
うち小児	1,467,587	20.1%	1,400,022	19.1%

※接種率は令和4年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない)。

また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

2 ワクチンの種類と接種対象者

区分	ファイザー (乳幼児用)	ファイザー (小児用)	ファイザー	モデルナ	ノババックス	ファイザー (BA.1、BA.4/5)	モデルナ (BA.1)
ワクチンの種類	従来株					オミクロン株対応2価	
	m-RNA					組換えタンパク	m-RNA
初回接種 (1、2回目)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28日間隔)	2回 (21日間隔)	—	—
対象者	6ヶ月以上 4歳以下	5歳以上 11歳以下	12歳以上	12歳以上	12歳以上	—	—
初回接種 (3回目)	1回 (55日間隔)	—	—	—	—	—	—
対象者	6ヶ月以上 4歳以下	—	—	—	—	—	—
第一期追加接種 (3回目)	—	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	1回 (6ヶ月間隔)	初回接種を完了した12歳以上の方が対象で1回接種	初回接種を完了した18歳以上の方が対象で1回接種
対象者	—	5歳以上 11歳以下	12歳以上	18歳以上	18歳以上		
第二期追加接種 (4回目)	—	—	1回 (3ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	—	前回接種から 3ヶ月間隔	前回接種から 3ヶ月間隔
対象者	—	—	60歳以上や 基礎疾患等	60歳以上や 基礎疾患等	—		
その他	10月24日から						BA.4/5は 薬事申請中

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

3 新型コロナウイルスワクチン等の接種促進

○ 初回接種(1・2回目接種)未了の方に向けて、以下の呼びかけを行う。

- ・初回接種が完了していない場合、オミクロン株対応ワクチンの接種ができません。
- ・また、年内に1・2回目接種を完了することで、年度末までの臨時接種期間内でのオミクロン株対応ワクチンの接種が可能となります。

初回接種(1・2回目接種)がまだお済みでない方へ

✓ オミクロン株対応2価ワクチンは、1・2回目接種が完了していないと接種できません。

※ このワクチンは、追加接種を前提に、有効性・安全性が確認されているため、従来型ワクチンによる1・2回目接種を完了している方が対象です。

✓ 年末年始の新型コロナウイルスの流行に備えて、年内に計画的なワクチン接種をご検討ください。

※ これまで2年間、年末年始の後に新型コロナウイルス感染症は流行しています。流行に備えて、重症化リスクの高い高齢者等とはとより、若い方にもワクチン接種の検討をお願いします。

また、年度末までにオミクロン株対応ワクチンの接種を終えるためには、遅くとも年内に1・2回目接種を終える必要がありますので、12月7日ごろまでに1回目を接種することをおすすめします。

✓ 1・2回目接種に使用している従来型ワクチンは、年内で、国からの供給が終了する予定であり、また、有効期限や在庫にも限りがあるので、早期の接種をご検討ください。

※ 従来型ワクチンは、ファイザー、モデルナ、ノババックスのいずれかになります。

○ 季節性インフルエンザとの同時流行も想定し、インフルエンザワクチンの接種の検討(同時接種可能)について呼びかけを行う。

○ 特に、インフルエンザワクチンの定期接種対象である高齢者等へ早期の接種検討を働きかける。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 北海道ワクチン接種センター

- ノババックスワクチン～11月6日までの予約を受付中であり、全ての日程で空きがある状況。
- オミクロン株対応ワクチン(ファイザー)～11月26日までの予約を受付中であり、11月5日までは予約を満たしているものの、その他の日程で空きがある状況。

接種会場	ホテルエミシア札幌(札幌市厚別区厚別中央2条5丁目)			
使用ワクチン	ノババックスワクチン		ファイザー社2価ワクチン(BA.4/5)	
対応接種回数	1回目	2回目	3回目	初回接種(1・2回目接種)を終了した方
対象年齢	12歳以上		18歳以上	12歳以上
接種券	道内の市町村が発行した1～3回目用の接種券		道内の市町村が発行した ◆3・4回目用の接種券 ◆オミクロン株対応ワクチン用接種券	
実施期間	令和4年10月8日～12月18日までの日曜(10月23日までは土日祝実施)		令和4年10月29日～12月17日までの土曜、祝日	
接種体制	1日当たり、240名		1日当たり、360名	
	協力機関:北海道医師会、札幌医科大学、北海道薬剤師会、北海道看護協会等			
予約受付	WEB:道のホームページからアクセス 電話:050-3851-0181(専用コールセンター)			